



児童数配布

—学校で学ぶ・家庭で生かす・地域を創る—

# 富士見台

令和3年度 学校評価号  
学校だより 530号  
練馬区立富士見台小学校  
校長 渋井 和子

<http://www.fujimidai-e.nerima-ky.ed.jp/>

## 令和3年度 学校評価

校長 渋井 和子

学校評価にご協力いただきましてありがとうございました。学校評価の結果をまとめましたので、お知らせいたします。

### 調査の概要

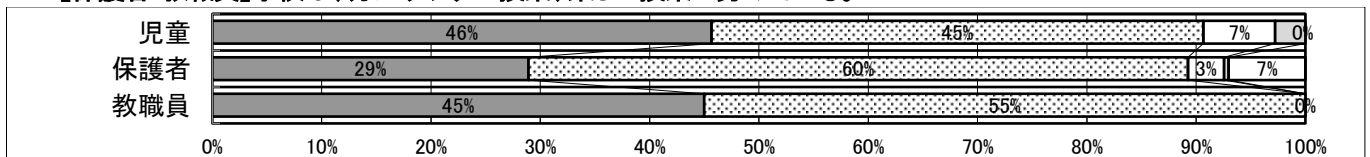
- 調査実施期間 令和3年11月30日～ 12月8日
- 対象・回収数 児童 586名・保護者 242名 回収率 41.3%・教職員 27名
- 回答方法 保護者・教職員  
【4そう思う】【3だいたい思う】【2あまり思わない】【1思わない】【0分からない】の5段階評定  
児童  
【4そう思う】【3だいたい思う】【2あまり思わない】【1思わない】の4段階評定法
- 処理方法 ○設問10項目についての回答を集計し、全体における割合をグラフに表した。  
○自由記述について集約した結果を表した。

### 1 質問についての結果

(1)結果 グラフの内訳は左から【4】【3】【2】【1】【0】割合を示しています。【4】【3】の標語(上記「3 回答方法」参照)を肯定的評価と捉え、肯定的評価の数値は【4】【3】を合わせた割合(%)の数値の合計を指します。

#### ①【児童】授業の学習内容が分かる。

【保護者・教職員】学校は、分かりやすい授業、楽しい授業に努めている。



※肯定的評価:児童 91%、保護者 89%、教職員100%

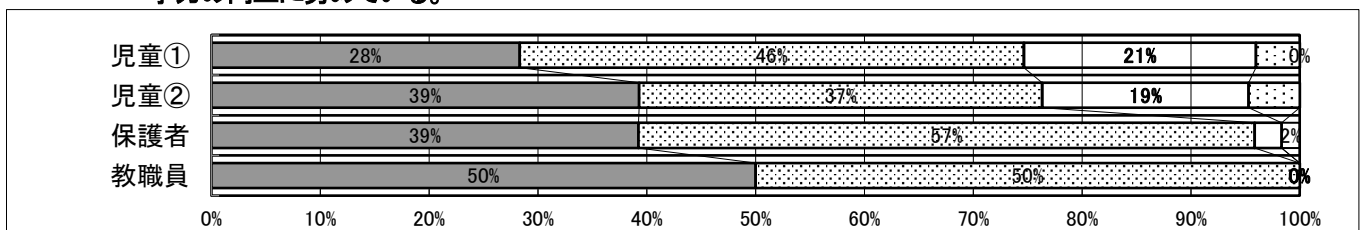
#### 主なご意見

- 子供が楽しく毎日学校に通える環境です。
- 子供の自主性を大切にしているところです。
- いつも先生の授業(体育を含め)がとても楽しい！と息子が話しております。感謝しております。

#### ②【児①】自分からすすんで学習している。

【児②】読書時間では、すすんで読書に取り組んでいる。

【保・教】学校は、学力定着を図るための取組(算数少人数指導、読書活動、学びのステーション等)を行い、学習意欲や学力の向上に努めている。



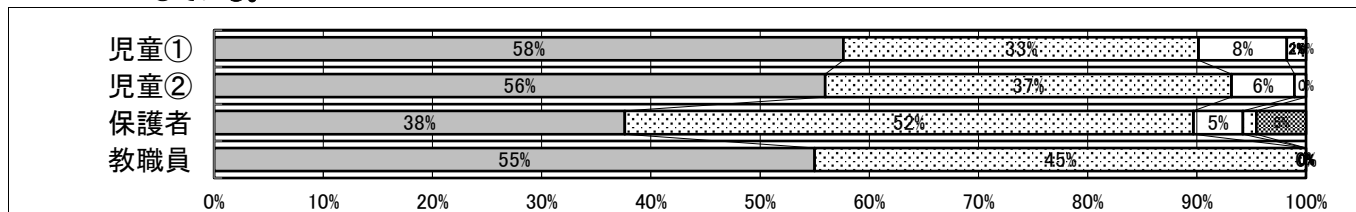
※①肯定的評価:児童74%、②肯定的評価:児童76% 保護者96%、教職員100%

#### 主なご意見

- 子供は学校の授業は分かりやすいと言っています。算数少人数などは「いろいろな先生の教え方があるから、いろいろなクラスにいてよい。」と言っていました。タブレットを使った音楽の授業や道徳の授業など、興味が広がった様子でした。
- 算数少人数指導がとてもよいです。
- 学校全体の朝会で校長先生がヨシタケシンスケさんの本を紹介してくださったのでさらに本に興味をもちました。さらに百人一首の取り組みも素晴らしいと思います。

③【児②】学校のきまりを守ろうとしている。

【保・教】学校は、あいさつや学校のきまりを守ることなど、集団生活を送るうえで、基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。



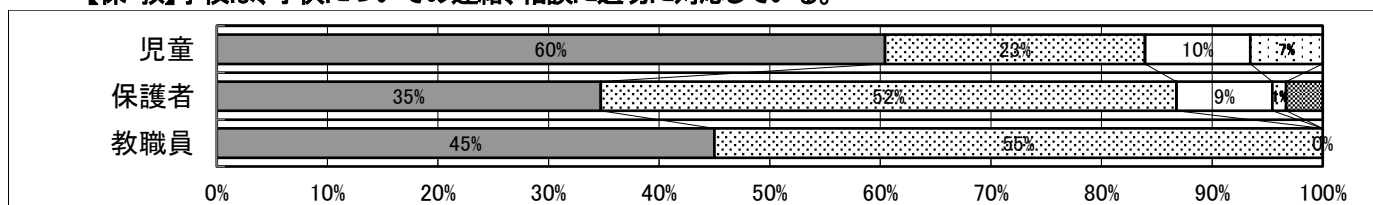
※①肯定的評価:児童91%、②肯定的評価:児童93% 保護者90%、教職員100%

主なご意見

- 挨拶はこちらがしても無言の子が多いのが気になります。不審者対策で教わったことがそのまま子供たちには大きく影響しているようです。ちゃんと挨拶する子、返す子もいますが少数です。

④【児】学校で困ったことがあったとき、相談できる場所や相談できる先生たちがいることを知っている。

【保・教】学校は、子供についての連絡、相談に適切に対応している。



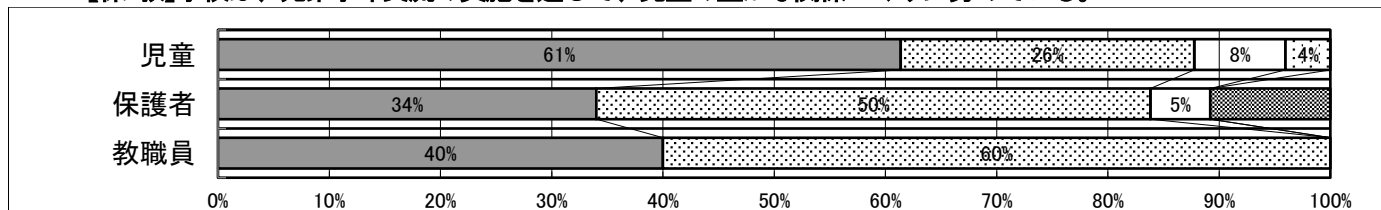
※肯定的評価:児童 83%、保護者87%、教職員100%

主なご意見

- 子供が交友関係で傷つけられたとき、しっかりご対応いただきました。
- 子供間のトラブルがあったとき、素早く担任の先生に対応していただき、クラス内でもそのことを共有してもらい、本人たちの心にちゃんと響いたと思いました。やはり先生たちからの言葉は重みがあり、ちゃんと受け止めてもらえたのでありがたかったです。

⑤【児】兄弟班交流で、他の学年の人と知り合いになれた。

【保・教】学校は、兄弟学年交流の実施を通して、児童の豊かな関係づくりに努めている。



※肯定的評価:児童87%、保護者84%、教職員100%

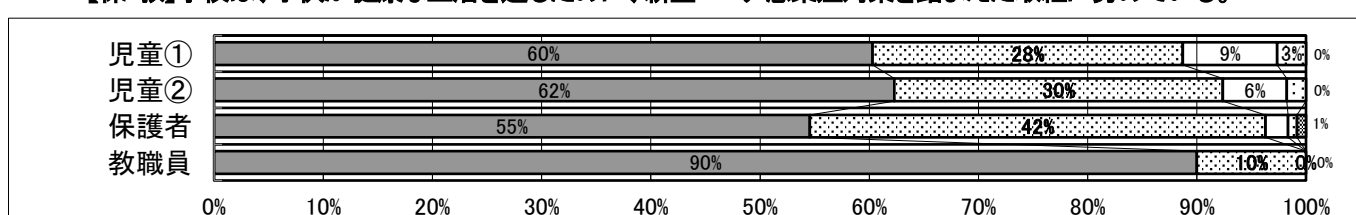
主なご意見

- 他学年との交流、楽しいようです。お姉さんの友達ができるたびうれしそうに教えてくれます。
- 兄弟学年交流に関しては、低学年のころよくやっていたいただいて、よいと思っていましたが、今は状況もあり、分かりませんがよいと思っています。

⑥【児】①体育の時間や外遊びの時間にすすんで身体を動かしている。

【児】②新型コロナ感染症対策として、手洗いや消毒、ソーシャルディスタンスや換気などに気を付けている。

【保・教】学校は、子供が健康な生活を送るために、新型コロナ感染症対策を踏まえた取組に努めている。

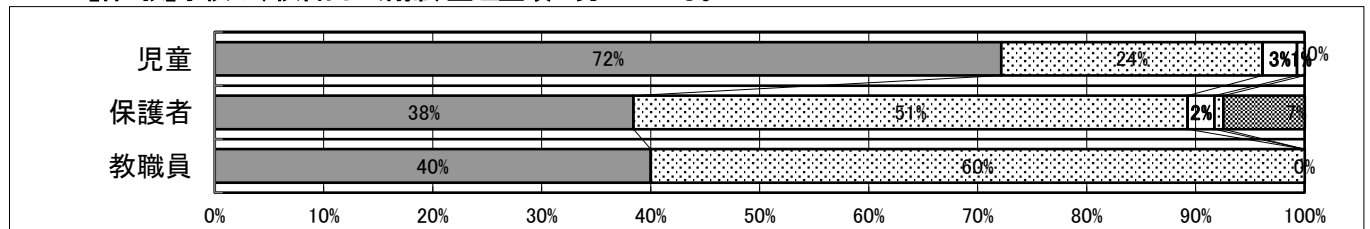


※肯定的評価:児童①88%、児童②92% 保護者97%、教職員100%

主なご意見

- コロナ対策がしっかりしている。子供は充実して学校生活を送れていると思います。
- 新型コロナウイルス感染症対策を体験活動にも力をいれているところ。運動会、展覧会、理科見学、発表や体験の場が少しずつ戻り、先生方の熱意を感じます。いつもありがとうございます。
- コロナの中でできることを模索して行っていただけていると思います。

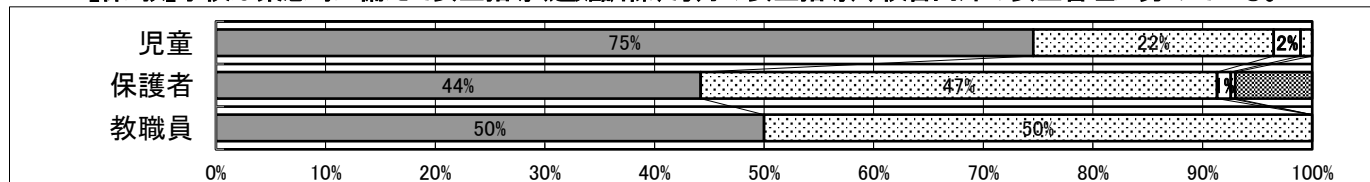
**⑦【児】そうじ当番のときは、任された仕事を最後までしている。  
【保・教】学校は、校舎内の清掃、整理整頓に努めている。**



※肯定的評価:児童96%、保護者89%、教職員100%

主なご意見 特になし

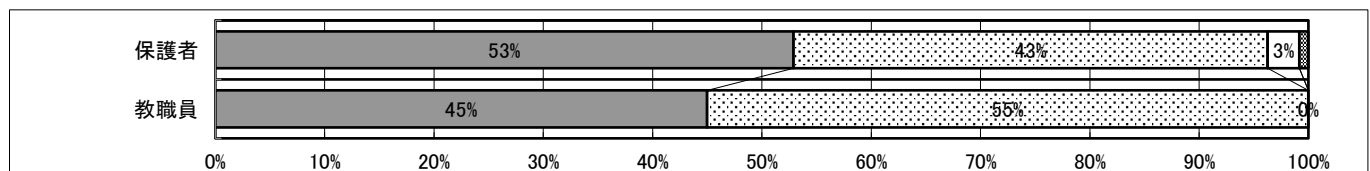
**⑧【児】避難訓練に真剣に参加している。  
【保・教】学校は緊急時に備えて安全指導(避難訓練、毎月の安全指導)、校舎内外の安全管理に努めている。**



※肯定的評価:児童97%、保護者91%、教職員100%

主なご意見 特になし

**⑨【保・教】学校は、学校だより、学年だより、ホームページ、保健だより、給食だよりなどで、学校の活動や取組を伝えている。**

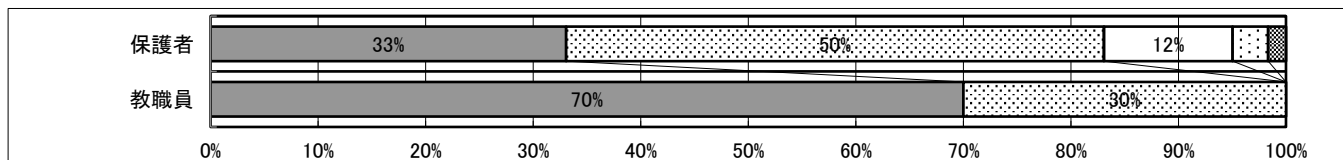


※肯定的評価:保護者96%、教職員100%

主なご意見

- コロナではありますが、保護者が子供の様子が分かるような機会(参観ツアーなど)を設けてくださっていることがよいと思いました。
- 授業参観や学校公開など中の様子が分かる機会を増やしてほしいと思います。

**⑩【保・教】学校は、動画配信やオンライン授業、行事を生中継するなど、ICT機器を用いながら、新しい取組を行っている。**



※肯定的評価:保護者88%、教職員100%

主なご意見

- コロナでできないことが多いなか、オンライン、タブレットを使って早々と取り組んでくれたことに感謝しています。これからも、今だからできることを追求しながら教育に役立ててほしいです。
- タブレットを一人1台使わせていただいているので、もう少し活用できたらよいのかなと思います。いつもありがとうございます。
- 動画やオンラインについてはこれからもっと増えていくとよいと思いました。

## 2 今回の学校評価について

### (1)回収率が大きく下がったことについて (対象数 保護者(児童数配付)588名 回収242名 回収率 41.2%)

○学校評価への回答の利便化を図るために、今年度より学校評価の回答用紙かGoogle formのいずれかで回答していただくことにしました。しかし、昨年度に比べて半数以下の回答率となってしまいました(昨年度85.5%)。⇒今年度の回答率は下がってしまいましたが、来年度も回答用紙とGoogle formを併用して学校評価を実施していきたいと考えております。その際、学校評価の回答の仕方について詳しくお示しし、Google formの回答の仕方についても改良を図ってまいります。

### (2)肯定的評価が高い項目 ○の中の数字は問題番号

位	児童	保護者
1	⑧避難訓練に真剣に参加している。(97%)	⑥学校は、子供が健康な生活を送るために、新型コロナ感染症対策を踏まえた取組に努めている。(97%)
2	⑦そうじ当番のときは、任された仕事を最後までしている。 (96%)	②学校は、学力定着を図るための取組(算数少人数指導、読書活動、学びのステーション等)を行い、学習意欲や学力の向上に努めている。(96%)
3	②新型コロナ感染症対策として、手洗いや消毒、ソーシャルディスタンスや換気などに気を付けている。(92%)	⑨学校は、学校だより、学年だより、ホームページ、保健だより、給食だよりなどで、学校の活動や取組を伝えている。(96%)

○児童の肯定的評価が高い項目では、避難訓練、そうじ、新型コロナ対策など、日々の自身の役割を果たそうとしたり、自分の命を守るための訓練や対応を粛々と取り組んだりしているという意識が高いことがうかがえます。  
○保護者の方からは、まず、学校の新型コロナ対策について大変高い評価をいただきました。また、例年のように学力向上の取組や学校の広報活動についても高い評価をいただきました。昨年度は、学校ホームページの更新回数が少なかったのですが、今年度は、「目指せ、200回更新！」を合言葉にホームページの更新に努めています。

### (3)肯定的評価が低い項目

位	児童	保護者
1	②-1自分からすすんで学習している。(74%)	⑤学校は、兄弟学年交流の実施を通して、児童の豊かな関係づくりに努めている。(84%) 【分からない11%】
2	②-2読書旬間では、すすんで読書に取り組んでいる。 (76%) 新規項目	④学校は、子供についての連絡、相談に適切に対応している。(87%)
3	④学校で困ったことがあったとき、相談できる場所や相談できる先生たちがいることを知っている。(83%)【昨年度65%】	⑩学校は動画配信やオンライン授業、行事を生中継するなど、ICT機器を用いながら、新しい取組を行っている。88%

○児童の肯定的評価が低い項目の中で、「④学校で困ったことがあったとき、相談できる場所や相談できる先生たちがいることを知っている。」については、昨年度の結果65%から大幅に肯定的評価が高くなった項目です。学校では担任による児童個人面談、2年生以上の心のふれあい相談員・スクールカウンセラーによる面談、心のふれあい相談員の利用ガイダンスで相談しやすい雰囲気づくりに努めています。来年度も、引き続き相談しやすい雰囲気づくりと相談できる場所についての周知をしていきます。  
○保護者の肯定的評価が一番低い項目は、「⑤学校は、兄弟学年交流の実施を通して、児童の豊かな関係づくりに努めている。」です。肯定的評価は84%でしたが、「分からない」と回答した方が11%となりました。学校参観ツアーや道徳授業の編集ビデオのタブレット配信など、学習している様子はご覧になれても、兄弟学年交流など異学年との交流活動を今年度ご覧になれなかったため、「分からない」と評価された方が多かったのではないかと考えております。

### (4)ご質問、ご意見に対するお答え

Q1: 子供から挨拶が返ってこないのが気になります。

A: 毎朝、管理職が校門で登校指導を行っています。大人から挨拶をしても、挨拶が返ってこないお子さんが少なからずいるのが現状です。学校では、年間1週間ずつ4回の挨拶週間を設定し、全教員、3年以上の児童が参加しています。ぜひ、ご家庭でも「おはよう」「おやすみなさい」「ありがとう」「ごめんなさい」などを言えるように習慣づけていただきたいと思います。学校でも、家庭でも、気持ちよい挨拶を自分からできる子に育てていきましょう。

Q2: タブレットが重いので、教科書等を学校に置かせてほしいです。

A: いわゆる置き勉(勉強道具を学校に置いて帰宅する)を学年ごとに取り組んでいます。学年によって、国語と算数の教科書、ドリル、ノートのみを持ち帰ったり、宿題が出る教科の教科書とノートのみを持ち帰ったり、タブレットを学校に置いて帰ったりしています。ですが、これで十分というわけではありませんので、学年の実態と授業予定等を鑑みて工夫を重ねていきます。

Q3: タブレットに自宅のwi-fiを接続して使用させてほしいのですが。

A: 練馬区では、現在、家庭等のWi-fi接続については原則禁止としています。しかし、オンライン配信による授業支援に限って、自宅のWi-fi接続を認めるとしています。ご理解をお願いいたします。学校の使用場面では、教育ネットワーク回線の強化などが今後予定されています。